

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：感染症予防費

事業名 リアルタイム感染症サーベイランスシステム運営事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部感染症対策推進課 感染症対策第二係 電話番号：058-272-1111(内 3352)

E-mail：c11237@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,500 千円 (前年度予算額：1,500 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,500	0	0	0	0	0	0	0	1,500
要求額	1,500	0	0	0	0	0	0	0	1,500
決定額	1,500	0	0	0	0	0	0	0	1,500

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

従来のインフルエンザ受診患者数の把握は、国が全国で行う感染症発生活動向調査の一環として行われ、国が指定する定点医療機関(県内87医療機関)からの週に1回の報告で、公表まで最大2週間を要する。感染拡大が早いインフルエンザについては、的確な流行状況を把握することに限界がある。また、県内の詳細な地域毎の流行状況も把握することができない。

(2) 事業内容

県内のインフルエンザ及び小児感染症の患者発生状況、各学校の感染症による休業の情報について、Web上でデータ収集し、自動的に集計、公表を行う(一社)岐阜県医師会「岐阜県リアルタイム感染症サーベイランスシステム」の運用に対する補助事業。

本システムは、導入後9年が経過しており、システムのサーバー及びソフトウェア自体のバージョンが古く、故障する可能性が高いことから、

平成 30 年度に新しいバージョンへ更新した。

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	1,500	システム維持に必要な経費（給与、報償費、サーバー運営費、通信運搬費等）
合計	1,500	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県保健医療計画

岐阜県感染症予防計画

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	リアルタイム感染症サーベイランスシステム運営事業費
補助事業者(団体)	一般社団法人岐阜県医師会 (理由) システムを運営しているため。
補助事業の概要	(目的) 県民や医療関係者に感染症の予防啓発を行う。 (内容) 県内のインフルエンザ及び小児感染症の発生状況を把握、集計・分析し、県民や医療関係者に情報提供を行う。
補助率・補助単価等	定額・定率・その他(例:人件費相当額) (内容) 県 10/10 (理由) 岐阜県感染症発生動向調査事業に係る患者情報の収集について、本システムを利用しているため。
補助効果	各地域において、医療機関や保健所等の関係者が感染症の流行状況を共有しながら、その状況に応じた医療体制を構築することができる。
終期の設定	終期 令和5年度 (理由) 継続的に実施予定の事業であるが、事業内容の見直し時点として設定。

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>県民が感染症の最新の流行状況を把握し、感染防止対策を行うために有用な情報発信を行う。</p>
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H21年度末)	目標 (R3年度末)	目標 (終期)
① 正確で迅速な情報発信	50%	100%	100%

	H30年度	R元年度	R2年度
補助金交付実績	5,372千円	1,500千円	1,500千円

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 <p>インフルエンザ流行期において、県内約 300 医療機関のインフルエンザ受診患者数、県内すべての学校の休業状況を把握し、地図、グラフ等を用い、地域別の発生状況の詳細を毎日、ホームページ上に公表した。</p> <p>指標① 目標：100% 実績：100% 達成率：100%</p>
令和3年度	<p>令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%</p>
令和4年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%</p>

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断）</p> <p>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 2	<p>流行状況を迅速にかつ地域別に把握することで、流行地域に対して注意喚起を行う等、地域で必要な対策を行うことができる。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）</p> <p>3：期待以上の成果あり（単年度目標 100%達成かつ他に特筆できる要素あり）</p> <p>2：期待どおりの成果あり（単年度目標 100%達成）</p> <p>1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標 50~100%）</p> <p>0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標 50%未満）</p>	
(評価) 2	<p>インフルエンザによる学校休業状況をお知らせするメールマガジンを配信しており、2万4千人以上の方に登録いただいている。</p>
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか）</p> <p>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 1	<p>岐阜県医師会に委託することにより、医師会員のネットワークを通じて迅速に情報を入手することができる。</p>

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 県民が感染症の最新の流行状況を把握し、感染防止対策を行うために有用な情報発信を行っていることから、引き続き行っていく。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 県民が感染症の最新の流行状況を把握し、感染防止対策を行うために有用な情報発信を行っており、継続すべき事業であるため引き続き行っていく。
